

9/12 校長講話

先週、6年生は連合水泳記録会に臨みました。

そのときのことについて3人の6年生にインタビューします。

1 初めに名前と出場した種目を教えてください。

A 児…50メートル 平泳ぎです。

B 児…25メートル クロールです。

C 児…25メートル クロールです。

2 連合水泳記録会に向けて取り組んだことを教えてください。

A 児…夏休みに友達とプールへ行き、練習に励みました。

B 児…速く泳ぐためのコツを友達に教えてもらい、練習を積み重ねました。

C 児…「21秒以内にゴールする」という目標を立てて、練習に励みました。

3 当日スタートの直前はどんな気持ちでしたか。

A 児…スタート直前になったら、もう自分の番なのかと思いました。

B 児…1メートル1メートルを大切に泳ごうと思いました。

C 児…目標が達成できるように「精一杯頑張ろう」と思いました。

4 泳ぎきった後はどんな気持ちになりましたか。

A 児…順位は下の方だったけれど、頑張って泳ぎきったので楽しく感じました。

B 児…もっと小学校で泳ぎたかったなと思いました。

C 児…結果は「21.2秒」でせ目標に惜しくもとどかず悔しい思いをしました。

5 連合水泳記録会を通して学んだことを教えてください。

A 児…何かしらの目標があれば、そのために頑張れるということです。

B 児…人と戦うのではなく、自分と戦うことがよいことにつながることを学びました。

C 児…僕は水泳の習い事をしています。やはり、上には上がいて、そこに追いつき、
追い越すために、これからも努力していきたいと思いました。

代表児童に述べてもらいましたが、6年生の出場者全員が懸命に泳ぐ姿が印象に残っています。

また、皆さんも水泳指導が始まる前に目標を立て、その目標を達成するために努力したことと思います。それが全部自分の力になっていることを信じてください。